

TETSU TO HAGANE

鉄と鋼

The Journal of the Iron & Steel Institute of Japan

主 要 目 次

卷 頭 言

- 昭和 34 年を迎えて 会長 塩沢 正一 1
鉄鋼生産技術の展望—昭和 33 年の歩み— 山岡 武 3

論 文

- マンガンによる脱硫生成物について 佐野幸吉, 他 9
主要 3 マクロ偏析生成機構の総合的説明 小野寺真作, 他 16
Timken 16-25-6 の引張り性, 曲げ性と鋳造組織との関係 山根寿己, 他 21
熱間加工性におよぼす Cu, Sn および Ti, 三の因子の影響 浅野栄一郎, 他 27
Ni-Cr 系合金におよぼす窒素の影響 岡本正三, 他 34
Ni 基耐熱合金の時効硬化特性について 長谷川太郎 40
高炭素鋼の黒鉛化におよぼす各種作用の因子について 山中直道, 他 45

技 術 資 料

- 米国ユー・エス・スチール会社研究開発の現況について 梅根英二 52

特 別 講 演

- I ビーム殊に軽量 I ビームの新しい孔型設計について H. ゼドラチェック 61

NO.

VOL. 45
JAN. 1959

日本 鉄 鋼 協 会

The Iron & Steel Institute of Japan

Price

200 per copy incl. postage
(Mar. & Sept.: 400 per copy)

Naka-14-go-kai Marunouchi 2-chome, Chiyodaku,
Tokyo, Japan